

10月^するりに澄む

令和8年度 原山中だより

【第6号】令和8年9月25日発行

実りの秋を迎えて

校長 木和田 美佐

今年の秋は、度重なる大雨による被害が全国各地で相次いでおり、対応に追われている皆さま方には心よりお見舞い申し上げます。また、さいたま市でも臨時休校の措置があり、生徒、保護者の皆さまには急な連絡にも関わらず、御協力いただきましたことに感謝申し上げます。今後、秋雨の時期でもあり、予断を許さない状況がありますが、生徒の安全を第一に対応してまいりたいと思います。

二学期が始まりまだ間もない日々ですが、原山中学校の生徒達は、自分たちの目標に向けて前向きに学校生活を送っています。夏季休業中に行われた「さいたま市中学校等英語弁論・暗唱大会地区予選」では、原山中学校の代表生徒4名が日頃の学習の成果を英語で堂々と発表しました。そして、9月4日の「中央大会」に出場を決めた生徒もあり、見事「二年暗唱の部」で「優勝」を勝ち取りました。一学期から練習を続け、本番までの努力はもちろんのこと、挑戦する姿勢そのものが素晴らしく、生徒たちの活躍は大変誇らしいものでした。

また、9月18日には合唱コンクールを開催しました。御来場いただきました御来賓、保護者の皆さまには、埼玉会館まで足をお運びいただきましてありがとうございました。本番を迎えるまでの間には、放課後に校舎内に歌声が響き渡り、各学級が目標に向かって心を一つにしながら練習に取り組んでいる様子が伺えました。合唱は、一人一人の力だけでは完成しません。仲間を思いやり、互いの声に耳を傾けながら一つの曲を創り上げていく過程には、多くの学びがあります。練習を重ねる中で見られる協力する姿や励まし合う姿は、大変頼もしく感じられました。こうした学校行事は、結果だけでなく、その過程に大きな意義があります。仲間と支え合いながら目標に向かって努力した経験は、生徒たちの自信となり、今後の学校生活や将来につながる大切な力となることと信じています。見事優勝した三学年、二学年の各クラスについては、10月にそれぞれ仲本小学校、原山小学校の音楽朝会にて、歌声を発表する機会をいただいています。児童の皆さんの目に、「あこがれる先輩」として映ることができるよう、頑張ってくださいと思います。

そして最後に、9月末より新人体育大会が始まっています。三年生が引退し、一、二年生で猛暑の夏を乗り越え、3か月頑張ってきた成果が試される大会です。会場の行き返りには十分に気を付けて、自転車を使用する際にはヘルメットの着用をするよう、御家庭からもお声掛けをよろしくお願いします。また、観戦マナーについても別途配信いたしますので、御協力のほど、お願いいたします。実りの秋にふさわしく、生徒たちがそれぞれの場面で成長の実を結ぶことができるよう、教職員一同力を合わせて支援してまいります。引き続き、本校の教育活動への御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。